

特別版

できる[®]

アイビス



iVHS HG10

映像編集編

清水理史 & できるシリーズ編集部



インプレスジャパン

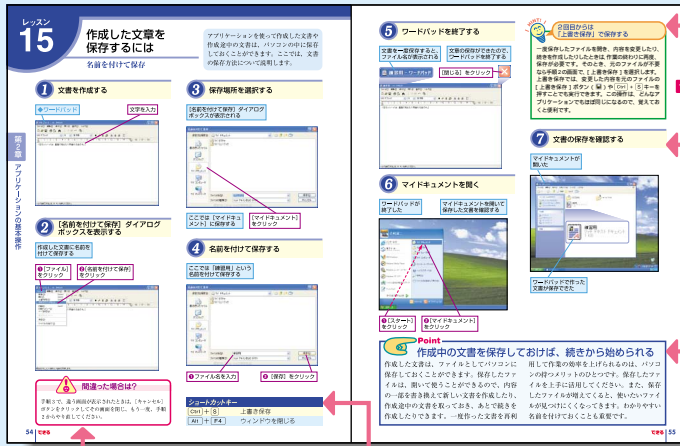
本書の読み方

レッスン

見開き2ページを基本に、
やりたいことを簡潔に解説

やりたいことが見つけやすいタイトル
「 をするには、や」 ってなに?」など、やりたいこと「や
「知りたいこと」がすぐに見つけられるタイトルがついています。

機能名で引けるサブタイトル
「あの機能を使うにはどうするんだっけ?」そんな時に便利。
機能名やサービス名などで調べやすくなっています。



HINT!

レッスンに関連した、さまざまな機能を
紹介したり、一歩進んだ使いこなしの
テクニックまで解説します。

手順

必要な手順を、すべての画面とすべての
操作を掲載して解説

Point

操作の要点をていねいに解説。レッスン
で解説している内容をより深く理解する
ことで、確実に使いこなせるようになります。

間違った場合は?

手順の画面と違う時にはまずここ。
操作を間違った場合の対処法を解説
してあるので安心です。

ショートカットキー

知っておくととにかく便利。めんどろな
操作を、キーボードを押す組み合わせ
だけで簡単に使えます。

用語の使い方

本文中では「iVIS HG10」のことを「iVIS」または「アイビス」と記述しています。また、本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

本書の前提

本書の各レッスンは、キャノン株式会社製のハイビジョンHDDカメラ「iVIS HG10 (ハードディスクモデル)」を前提に画面を再現しています。また、本書では、Windows XP Home Edition/ProfessionalにCorel Application Disc (ver2.0)をインストールし、Corel Application Disc Ver.2.0用アップグレードプログラムをインストールした環境をもとに画面を再現しています。Windows Vistaの環境でも本書をお読みいただくことは可能ですが、一部画面や操作が異なることがあります。また、DVD-R (片面2層式対応)、DVD-RW、CD-R、CD-RWへの書き込みに対応したパソコンを使用しています。

本書に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2007年9月現在のものです。本書の発行後に、情報が変更されることもあります。

「できる」、「できるシリーズ」は、株式会社インプレスジャパンの登録商標です。

アイビス、iVISは、キャノン株式会社の商標です。

Corel、Corelロゴ、Ulead、Uleadロゴ、Ulead DVD MovieWriter、InterVideo、InterVideoロゴ、WinDVDは、Corel Corporationおよびその子会社の商標または登録商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

その他、本文中の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の商標または登録商標です。

なお、本文中には™および®マークは明記していません。

Copyright © 2007 Masashi Shimizu and Impress Japan Corporation. All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

まえがき

一生の思い出として大切にしたい記念日、あとから振り返ったときに成長の過程がうかがえるような行事やイベントなど、人生にはその一瞬を切り取って残しておきたいシーンがいくつもあります。そんなシーンをiVIS (アイビス) で撮影できたとしたら、そのまま撮りっぱなしにしておくのは、とてももったいないことです。

40GBものハードディスクを搭載することで、ディスクやテープを交換しなくても長時間の撮影が可能になったiVIS HG10なら、思いのままに撮りためた美しいハイビジョン映像も手軽にパソコンに取り込んで編集することができます。お気に入りのシーンだけをつないだり、シーンの切り替わりを凝った効果で演出してみたり、映像に文字や音楽を付け加えたりと、映像を思い通りに編集して楽しんでみましょう。

映像編集と言うと、難しいイメージがあるかもしれませんが、iVIS HG10に付属している「Corel Applications」ならわずか数ステップで映像の編集ができてしまいます。映像をDVDに保存して、ほかの人に渡すことなどもできますので、この機会に映像編集をはじめてみることをおすすめします。

2007年9月 清水理史

できるアイビス iVIS HG10 映像編集編

| | | | |
|---|-----------------------|------------------------|----|
| 1 | 映像編集の流れを知ろう | < DVDに書き込むまでの流れ > | 2 |
| 2 | iVIS からパソコンに映像を取り込むには | < GuideMenu > | 4 |
| 3 | 取り込んだ映像を編集するには | < DVD MovieWriter SE > | 8 |
| 4 | 映像内の不要な部分を削除するには | < ビデオのカット編集 > | 10 |
| 5 | 映像に効果を追加するには | < ビデオをエンハンス > | 14 |
| 6 | DVDのメニューを作成するには | < メニューの編集 > | 18 |
| 7 | 完成した映像をDVDに書き込むには | < 書き込み > | 22 |

映像編集の流れを 知ろう

DVDに書き込むまでの流れ

iVISで撮影した映像は、パソコンで編集したり、DVDに書き込んだりして楽しむことができます。まずは、全体の作業の流れを確認してみましょう。

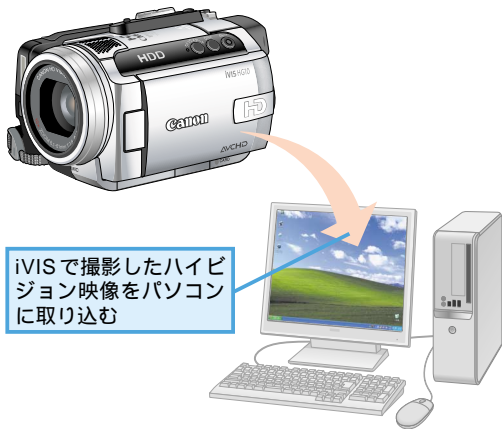
映像編集は4つのステップに分かれている

映像編集は大きく分けて4つのステップに分かれています。最初のステップ1で映像をパソコンに取り込み、そのあとのステップ2で

映像の不要な部分などを編集。ステップ3でDVDのメニューを作成し、最後のステップ4で完成した映像をDVDに書き込みます。

ステップ 1

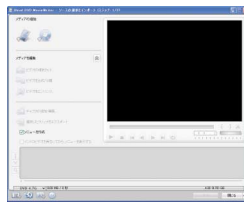
iVISをパソコンに接続し、撮影した映像を取り込みます。iVISとパソコンの接続には、付属のUSBケーブルを利用します。



▶▶ レッスン ② 参考

ステップ 2

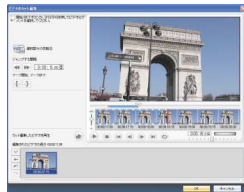
DVD MovieWriter SEの起動



映像編集やDVDの作成には付属の「DVD MovieWriter SE」というソフトを使います。起動などの基本操作を確認しましょう。

▶▶ レッスン ③ 参考

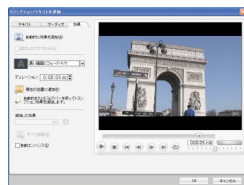
映像の不要な部分を編集する



映像に不要なシーンが含まれている場合は、カットなどの作業をして、必要なシーンだけの映像に編集します。

▶▶ レッスン ④ 参考

映像にさまざまな効果を追加する



映像が切り替わる部分に効果を設定してスムーズに映像をつなげたり、映像にコメントを挿入したりして、オリジナルの映像を作成します。

▶▶ レッスン ⑤ 参考



SD画質に変換することもできる

iVIS HG10では美しいハイビジョン画質の映像を撮影することができますが、そのままでは映像のサイズが大きすぎて1枚のDVDに保存することができません。このような場合は、あとから映像を変換します。付属のソフトを使えば簡単に変換することができますので、一般的なDVDと同等のSD画質に変換してからDVDに保存しましょう。



Corel Applicationsの最新版を入手しよう

iVISには映像を取り込んだり、編集したりできる「Corel Applications」が付属していますが、2007年8月に修正プログラムが公開されています。下記のURLから確認し、修正プログラムが必要かどうかを確認しましょう。このような修正プログラムは今後も提供される可能性がありますので、定期的にホームページをチェックすると良いでしょう。

コーレル株式会社
ユーリードテクニカルサポート ホームページ
http://www.ulead.com.tw/Ulead/Survey/campaign/Canon_DMF/member.cfm?pg=4&fs=jp



すべての作業を一度にやる必要はない

ここで紹介したステップ1からステップ4までの作業は、一度に行う必要はありません。今日はステップ1の取り込みだけにして、翌日以降にステップ2や3でじっくりと編集をし、最終的に気に入った映像ができればステップ4といったように、ステップごとに日を分けて作業すると良いでしょう。

1

DVDに書き込むまでの流れ

ステップ 3

DVDに書き込んだときに表示されるメニューを作成します。1枚のDVDに複数の映像を保存した場合などは、メニューを利用することでタイトルなどから再生する映像を手軽に選択できます。



取り込んだ映像をDVDのメニューとして作成



作成したメニューをDVDメディアに書き込む前に確認する

▶▶ レッスン 6 参考

ステップ 4

編集した映像と作成したメニューを合わせてDVDに保存します。作成したDVDは、一般的なDVDビデオと同じ形式となりますので、家庭用のDVDプレーヤーで手軽に再生できます。



編集した映像と作成したメニューをDVDメディアに書き込む



▶▶ レッスン 7 参考



Point

わずか4つのステップで映像編集を楽しめる

「映像編集」などと聞くと、難しいのではないかと尻込みしてしまう人も少なくないのではないでしょうか？ しかし、iVISに付属している映像編集ソフトを利用すれば、取り込み、編集、メニュー作成、書き込みという、わずか4つのステップで撮影した映像を好みの映

像に仕上げ、DVDに保存することができます。はじめてでもかんたんにできるうえ、素材となる映像を自分の好みに仕上げ、楽しさを味わうことができるわけです。単に映像を保存するだけでなく、映像を“創る”楽しさを味わってみましょう。

レッスン 2

iVIS からパソコンに 映像を取り込むには

GuideMenu

iVISで撮影した映像をパソコンに取り込みましょう。USBケーブルを使ってiVISをパソコンにつなげば、手軽に映像を取り込むことができます。

iVISから映像をパソコンに 取り込むには

iVISで撮影したハイビジョン映像をパソコンに取り込むには、「Corel Applications」というソフトウェアを利用します。iVISに付属しているCD-ROMに収録されていますので、あらかじめパソコンにインストールしておきましょう。

1 Corel GuideMenu アプリケーションを確認する

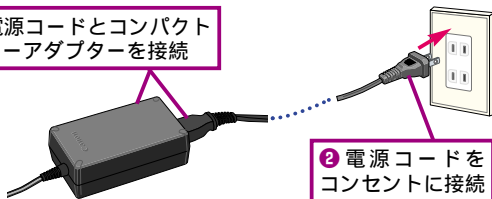
あらかじめiVIS HG10に付属している「Corel Application Disc」から「Corel Applications」をインストールしておく



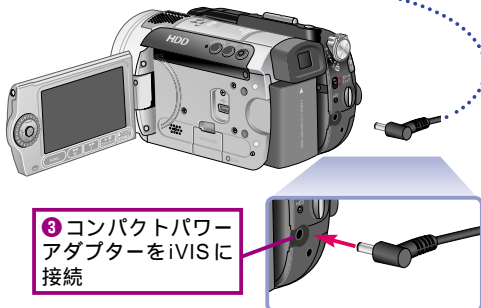
通知領域に [GuideMenu] アイコンが表示されていることを確認

2 iVISとコンパクトパワー アダプターを接続する

① 電源コードとコンパクト
パワーアダプターを接続

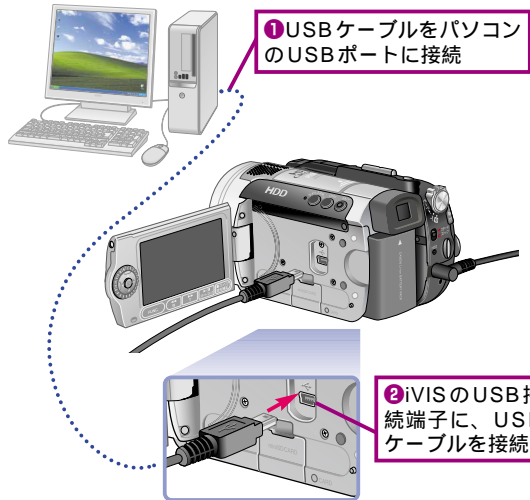


② 電源コードを
コンセントに接続



③ コンパクトパワー
アダプターをiVISに
接続

3 iVISとパソコンを接続する



① USBケーブルをパソコン
のUSBポートに接続

② iVISのUSB接続
端子に、USB
ケーブルを接続

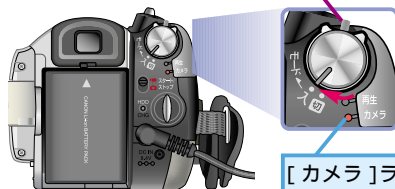
4 iVISをカメラモードにする

iVISを動画撮影できる
ようにして電源を入れる

① iVISの動画/静止画切り
換えスイッチを [動画] 側に
スライド



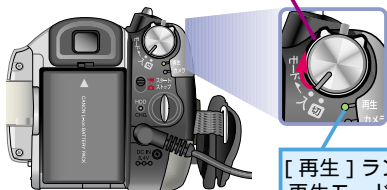
② 電源スイッチにあるロックスイッチを
押しながら [入] 側に回す



[カメラ] ランプが点灯し、
カメラモードになった

5 iVIS を再生モードにする

電源スイッチを [モード] 側に回す



[再生] ランプが点灯し、再生モードになった

6 GuideMenu が表示された



しばらくするとバルーンが表示され、iVIS が認識された

パソコンにiVISが接続されると、自動的に[GuideMenu]が表示される

GuideMenu
Corel Applications を起動するためのメニュー。いろいろなアプリケーションを起動できる

7 映像の保存を開始する



ここではiVISで撮影した映像をパソコンに保存する

[パソコンに保存] をクリック



間違った場合は？

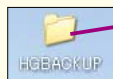
手順6で[GuideMenu]を閉じてしまったときは、デスクトップのアイコンをダブルクリックしてメニューを表示し直します。



iVIS に保存されたデータをバックアップできる

iVIS HG10に付属しているバックアップユーティリティを利用すると、撮影した映像をパソコンにバックアップしたり、再び書き戻したりすることができます。ただし、撮影時間によってはファイルサイズが非常に大きくなる場合がありますので、パソコンのハードディスクに十分な空き容量があるかどうかを確認してからバックアップしましょう。

あらかじめiVIS HG10に付属している「バックアップユーティリティディスク」から「HGBACKUP」フォルダをデスクトップにコピーしておく

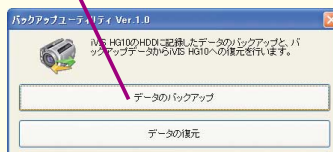


1 [HGBACKUP] フォルダをダブルクリック



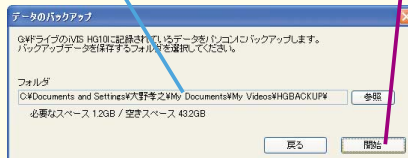
2 [HGBACKUP] をダブルクリック

3 [データのバックアップ] をクリック

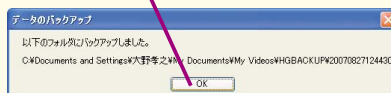


データのバックアップ先が表示された

4 [開始] をクリック



5 [OK] をクリック



次のページに続く

8 映像の保存先を指定する

[パソコンに保存]画面が表示された

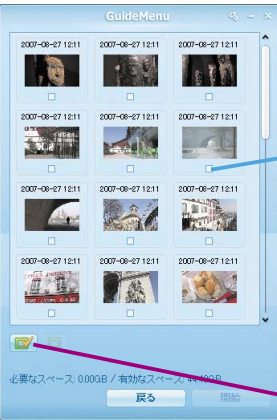
初期状態では「マイドキュメント」の中にある「マイビデオ」フォルダに保存される



ここをクリックすると、保存先を選択できる

[次へ]をクリック

9 保存する映像を選択する



iVISに保存されている映像が表示された

パソコンに保存したい映像にチェックマークを付ける

ここではすべての映像をパソコンに保存する

ここをクリック



間違った場合は?

手順10で間違っ、保存を途中でキャンセルしてしまった場合は、手順1から、もう一度、操作をやり直します。



ハードディスクの空き容量に気をつけよう

iVISは本体に内蔵されたハードディスクに映像を記録します。このハードディスクの容量は40GBとなっていますので、容量いっぱいまで映像を記録した場合、映像ファイルの総容量も40GB近くになります。このような映像をパソコンに取り込むには、40GB以上の空き容量が必要になりますので、事前にパソコンのハードディスクの空き容量を確認しておきましょう。

10 映像の保存を開始する



すべての映像にチェックマークが付いた

[開始]をクリック

映像の保存が開始された

保存が完了するまでしばらく待つ

11 映像の保存が完了した



[ファイルの保存が完了しました]と表示され、取り込みが完了した

[OK]をクリック

12 GuideMenuを閉じる



[GuideMenu]画面が表示された

ここをクリック

[オーサリング]をクリックするとDVD MovieWriter SEを起動できる



長時間の映像を取り込む場合は

iVISで長時間の映像を撮影した場合、その映像は2GBごとに分割されてパソコンに取り込まれます。映像によっては、たくさんのファイルに分割されることもありますので、よく確認しておきましょう。なお、分割されたファイルは、DVD Movie Writer SEを利用することで1つにまとめることもできます。ファイルをまとめておきたい場合に活用すると良いでしょう。

13 iVISを安全に取り外せるようにする

[GuideMenu]画面が閉じ、デスクトップが表示されたら

iVISをパソコンから取り外せるようにする



① [ハードウェアの安全な取り外し]をクリック



② [USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ (G:)]をクリック



パソコンによって表示される内容が異なる

14 iVISの電源をオフにする

電源スイッチにあるロックスイッチを押しながら [切] 側に回す



ランプが消灯し、電源がオフになった



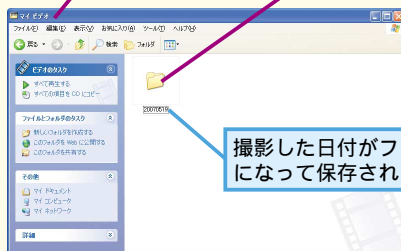
取り込んだ映像を確認するには

パソコンに取り込んだ映像は、[マイドキュメント]の中にある[マイビデオ]フォルダに保存されます。以下の手順を参考にファイルを参照すると良いでしょう。なお、ファイルを再生するには、「Corel Application Disc」に含まれる「InterVideo WinDVD SE」というソフトウェアが必要です。再生できないときはインストールしておきましょう。

取り込んだ映像は、手順7で特になにも変更しなければ「マイドキュメント」の中にある「マイビデオ」フォルダに保存される

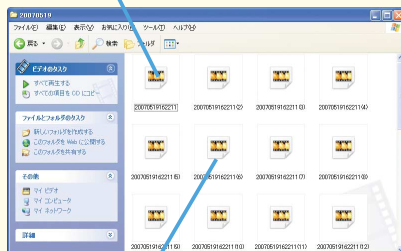
① [マイビデオ]フォルダを表示

② 確認したいフォルダをダブルクリック



撮影した日付がフォルダ名になって保存される

フォルダに保存されている映像が表示された



映像のファイルをダブルクリックすると確認できる



Point

つながりだけでかんたんに映像を取り込める

iVISで撮影した映像を編集するには、まずパソコンに映像を取り込む必要があります。取り込みといっても、作業はかんたんです。USBケーブルでパソコンとiVISを接続すると、自動的に取り込みに使うアプリケーション [GuideMenu] が起動するので、メニューか

らやりたい操作を選ぶだけです。これでiVIS本体からパソコンのハードディスクへと映像がコピーされます。バックアップユーティリティを利用することで、映像だけでなく、iVIS全体をバックアップすることもできますので、パソコンでiVISをさらに活用してみましょう。

レッスン 3

取り込んだ映像を 編集するには

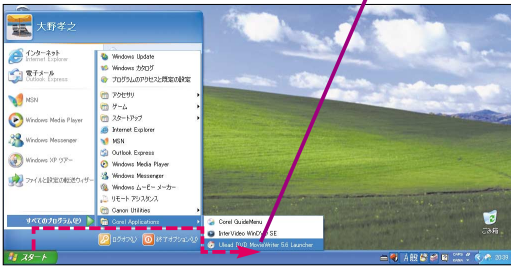
DVD MovieWriter SE

パソコンに取り込んだ映像を編集するには、[DVD MovieWriter SE] というアプリケーションを利用します。起動方法などの基本操作を確認しておきましょう。

DVD MovieWriter SE を起動する

1 DVD MovieWriter SE を 起動する

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Corel Applications] - [Ulead DVD MovieWriter 5.6 Launcher] の順にクリック

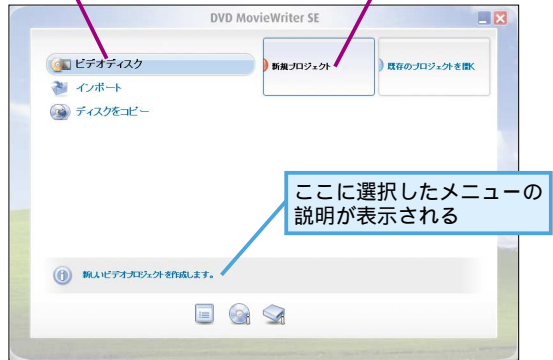


2 新しいビデオプロジェクトを 作成する

[DVD MovieWriter SE] の
Launcher画面が表示された

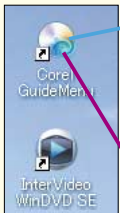
① [ビデオディスク]
をクリック

② [新規プロジェクト]
をクリック



GuideMenuからDVD MovieWriter SEを起動できる

DVD MovieWriter SEはスタートメニューからだけでなく、GuideMenuからも起動することができます。GuideMenuをかたんに表示したいときは、デスクトップにある [Corel GuideMenu] をダブルクリックして起動しましょう。表示された [GuideMenu] にある [オーサリング] をクリックすると、DVD MovieWriter SEを起動できます。



Corel Applicationsをインストールすると、デスクトップに [Corel GuideMenu] のショートカットが自動的に作成される

① [Corel GuideMenu] を
ダブルクリック



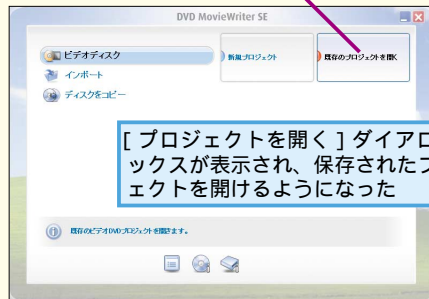
[GuideMenu] 画面が
表示された

② [オーサリング] を
クリック

保存したプロジェクトを開くには

以前に保存したビデオプロジェクトを開き、編集作業の続きをしたいときなどは、手順2で [既存のプロジェクトを開く] を選択し、保存したビデオプロジェクトを読み込みます。このようにすれば、編集作業を複数日に分けて少しずつ行えます。

手順2で [既存のプロジェクト
を開く] をクリック





作成するディスクのフォーマットってなに？

手順3で選択しているフォーマットは映像をどのような形式でディスクに保存するかを決める設定です。一般的なDVDプレーヤーなどで再生したい場合は [DVD] を、HDモードで撮影した映像の品質を落とさずに、ハイビジョンのまま保存したいときは [AVCHD] を選択します。「AVCHD」フォーマットで作成したディスクはAVCHD規格に対応した機器でのみ再生できます。対応していない機器にこれらのディスクを入れた場合、ディスクが取り出せなくなることがあります。注意しましょう。



ビデオプロジェクトってなに？

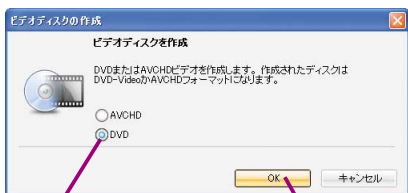
DVD MovieWriter SEでは、編集対象のビデオやビデオに追加する画像や音楽などの素材をひとまとまりの単位として管理します。この単位のことをビデオプロジェクトと呼びます。DVD MovieWriter SEで編集したビデオは、ビデオプロジェクトごとに保存され管理されます。

3

作成するDVDのフォーマットを選択する

[ビデオディスクの作成] ダイアログボックスが表示された

DVDのフォーマットを選択する



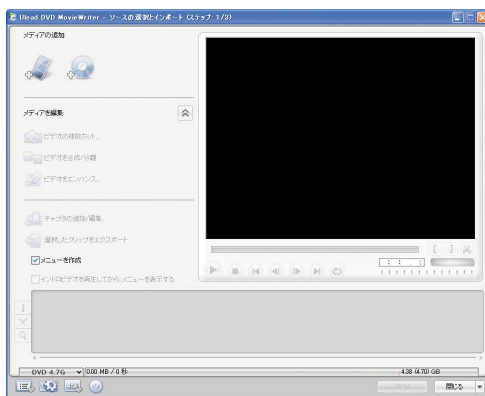
① [DVD] をクリック

② [OK] をクリック

4

新しいビデオプロジェクトが作成された

DVD MovieWriter SEの画面が表示された



間違った場合は？

手順3で間違ったフォーマットを選択してしまったときは、手順4で画面左下にあるフォーマット名をクリックして設定を変更します。



Point

DVDのフォーマットを間違えないようにしましょう

DVD MovieWriter SEは、パソコンに取り込んだ映像の編集から、DVDへの書き込みといった一連の操作を行うためのアプリケーションです。このため、起動後にまず最初にしなければならない設定がフォーマットの選択になります。最終的にDVDに保存するときに、どのような形式でデータを書き込むのかを決め

ることで、はじめて編集などの実質的な作業が可能になります。iVISは美しいHDモード (AVCHD) で映像を撮影するのが特徴ですが、この映像を再生できる環境はまだ限られます。このため、本書ではDVDを選択し、一般的な環境で再生できる形式で映像を編集します。

レッスン 4

映像内の不要な部分を 削除するには

ビデオのカット編集

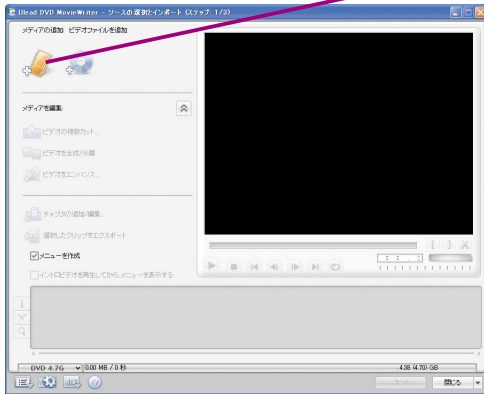
それでは実際に映像を編集してみましょう。ここでは映像の始点と終点を指定して、映像に含まれる必要なシーンを取り出す方法を紹介します。

保存した映像をDVD MovieWriter SEに追加する

1 保存した映像をプロジェクトに追加する

レッスン②で保存した映像をプロジェクトに追加する

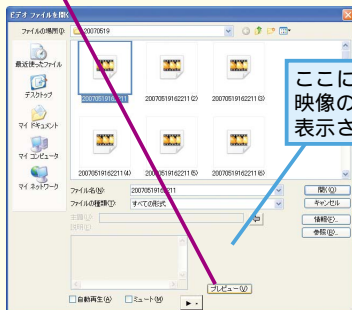
[ビデオファイルを追加]をクリック



追加する映像を確認するには

DVD MovieWriter SEでは、追加する映像を事前に確認することができます。手順2の画面でファイルを指定してから、以下のように[プレビュー]ボタンをクリックすることで、プレビュー画面で映像の内容を確認できます。

手順2で[プレビュー]をクリック



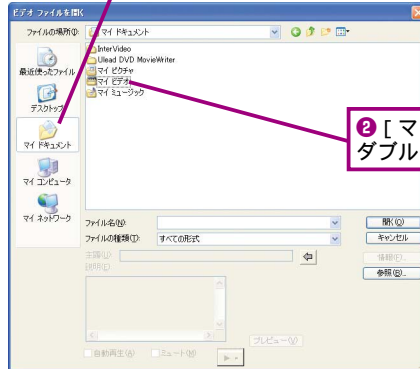
ここに選択している映像のプレビューが表示される

2 追加する映像を選択する

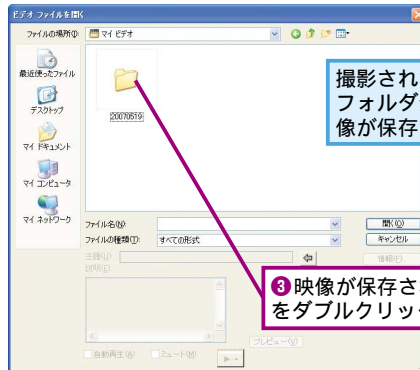
[ビデオファイルを開く]ダイアログボックスが表示された

[マイビデオ]に保存された映像を追加する

1 [マイドキュメント]をクリック

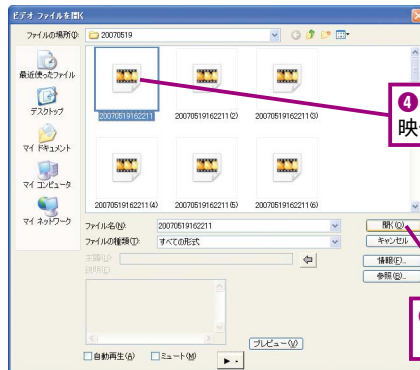


2 [マイビデオ]をダブルクリック



撮影された日付ごとにフォルダ分けされ、映像が保存されている

3 映像が保存されたフォルダをダブルクリック

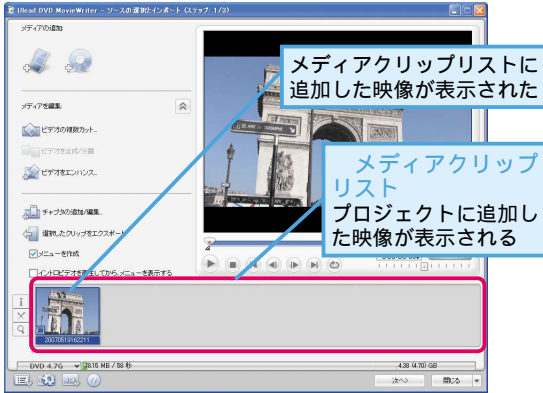


4 追加したい映像をクリック

5 [開く]をクリック

3

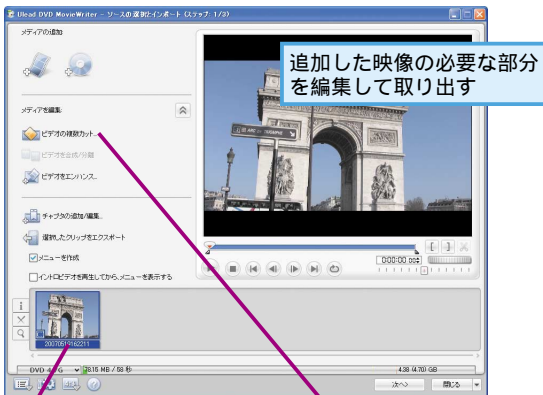
映像が追加された



追加した映像の必要な部分を取り出す

4

「ビデオのカット編集」画面を表示する



① 編集する映像をクリック

② 「ビデオの複数カット」をクリック



間違った場合は？

手順3で間違った映像を追加してしまったときは、映像をクリックして選択し、左側にある「削除」(X)をクリックして削除します。



マーク開始とマーク終了ってなに？

マーク開始とマーク終了とは、映像の特定の範囲を指定するための機能です。マーク開始で映像の始まりとなる位置を指定し、マーク終了で終わりとなる位置を指定します。このようにマークで特定の範囲を指定することにより、その範囲の映像を取り出すなどの編集ができます。

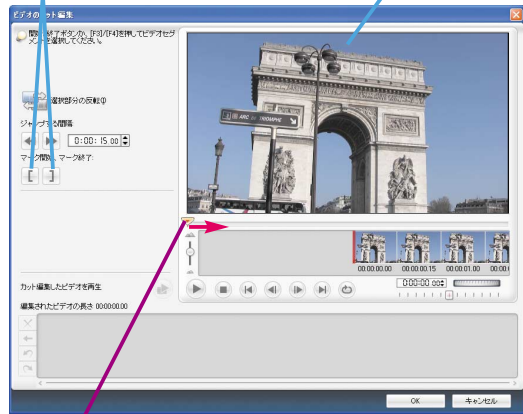
5

マーク開始を指定する

「ビデオのカット編集」画面が表示された

「マーク開始」と「マーク終了」で、必要な部分を指定する

ここに表示される映像を確認しながら、ジョグバーをドラッグして映像の頭出しをする

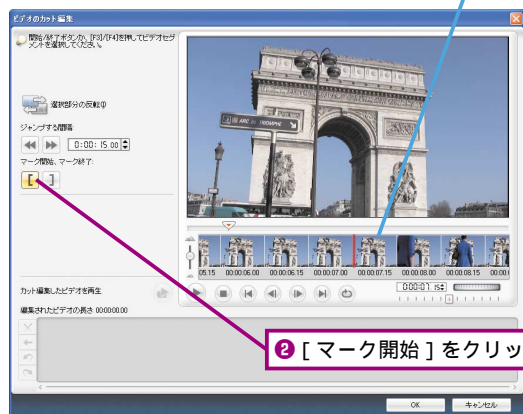


① 必要な映像の先頭までジョグバーをドラッグ

ジョグバー



映像の各コマが表示される



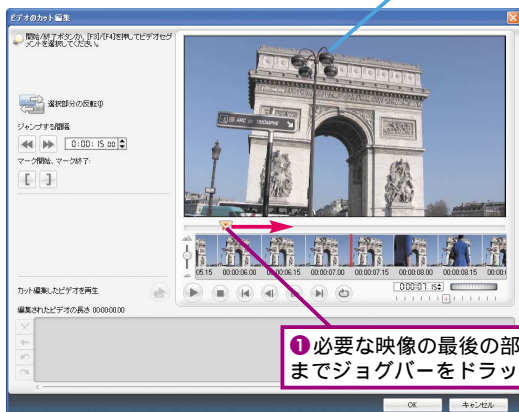
② 「マーク開始」をクリック

次のページに続く

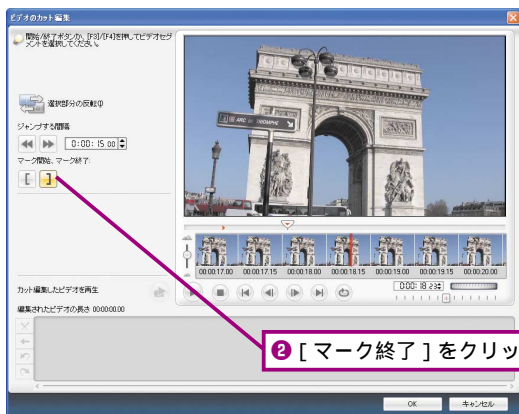
6 マーク終了を指定する

マーク開始を表わす赤い印が移動した

ここに表示される映像を確認しながらジョグバーをドラッグし、必要な映像の最後の部分を表示する



1 必要な映像の最後の部分までジョグバーをドラッグ

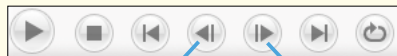


2 [マーク終了]をクリック



必要な部分をもっと細かく表示するには

映像のマーク開始やマーク終了位置を細かく指定したいときは、[前のフレームへ] (◀) または、[次のフレームへ] (▶) を使うと便利です。たとえば、手順6の画面で [次のフレームへ] (▶) をクリックすると、映像をコマ送りすることができます。シーンの切り替わり位置などをピッタリ指定したいときなどに便利です。



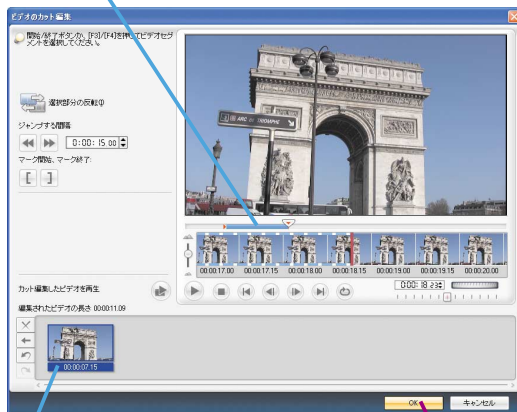
前のフレームへ

次のフレームへ

7 指定したマーク開始とマーク終了を確認する

映像の必要な部分が青く表示された

映像の必要な部分を編集できた

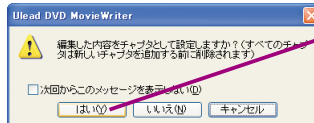


1 [OK]をクリック

メディアクリップリストに編集した部分が追加された

編集した内容をチャプタとして保存するかどうかを確認する画面が表示された

ここではチャプタとして保存する

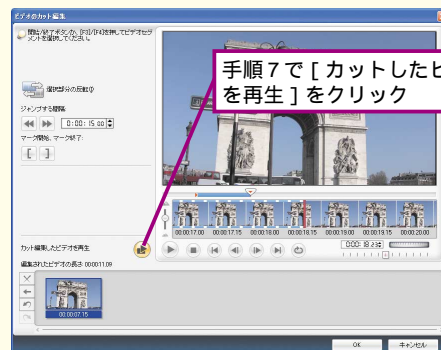


2 [はい]をクリック



指定した部分を再生して確認するには

マーク開始とマーク終了で指定した範囲の映像を確認したいときは、以下のように手順7で [トリムしたビデオだけを再生] をクリックすることで、その範囲だけを再生できます。



手順7で [カットしたビデオを再生] をクリック



複数の映像を追加できる

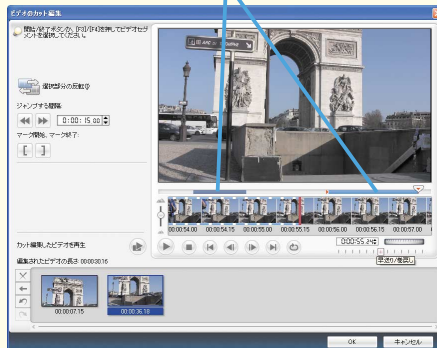
DVD MovieWriter SEでは同時に複数の映像を追加することができます。複数の映像をつなげたり、映像の中から必要なシーンを取り出したりしたいときは、10ページの手順1～3を繰り返して複数の映像を追加しましょう。



1つの映像を複数箇所に分割できる

手順5～6の操作を繰り返して、複数の位置をマークすると、1つの映像を複数の箇所に分割することができます。映像の中に必要なシーンがいくつかある場合は、この方法で編集すると良いでしょう。

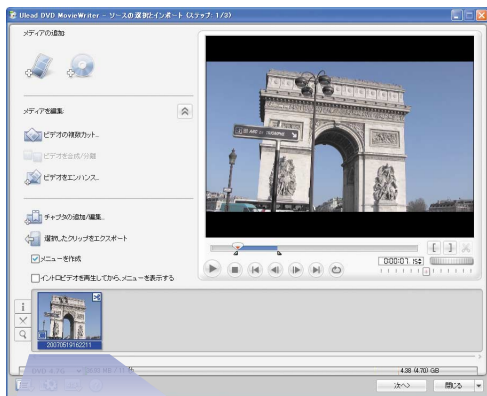
1つの映像の中でも手順5と6を繰り返すことで、複数の箇所を指定できる



8

映像の編集が完了した

[ビデオのカット編集]画面が閉じ、手順4に戻った



ビデオのカット編集をした映像にはこのアイコンが表示される



間違った場合は?

間違った位置をマーク開始やマーク終了に設定してしまったときは、正しい映像位置を指定してから、もう一度、マーク開始やマーク終了をクリックして位置を指定し直します。

ショートカットキー

| | |
|----|-------|
| F3 | マーク開始 |
| F4 | マーク終了 |



Point

映像編集のコツは位置の細かな設定

映像をうまく編集するコツは、必要な部分と不要な部分を正確に指定することです。位置を正確に指定すれば、不要なシーンが表示されたり、必要なシーンが途中で切れたりしてしまうことを防止できます。ジョグバーでおおまかな位置を指定し、[前のフレームへ](◀)や[次のフレームへ](▶)で、細かく調節する

などして正確に位置を指定すると良いでしょう。なお、このレッスンの設定はあくまでもカットする部分の位置を指定しているだけで、映像ファイル自体からシーンが削除されているわけではありませんので安心してください。

レッスン 5

映像に効果を追加するには ビデオをエンハンス

映像に効果を追加してみましょう。効果を使うと、映像の最後で自然に暗くなっていくようにしたり、シーンの切り替えをスムーズにしたりすることができます。

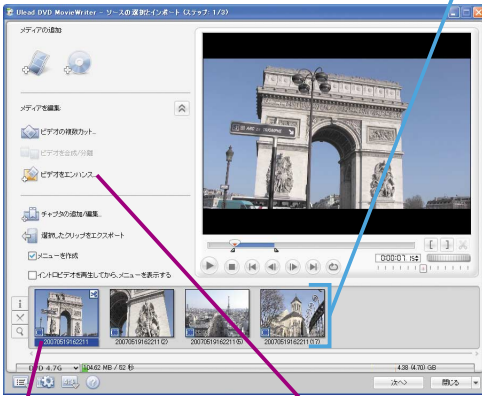
映像にトランジションの効果を追加する

DVD MovieWriter SEでは、映像にトランジションと呼ばれる映像効果を加えたり、テキストを追加したりすることもできます。ここでは例として、映像が自然に消えていくようなトランジション効果を映像の最後に追加してみます。

1 効果を追加する映像を選択する

ここでレッスン④で編集した映像に効果を追加する

レッスン②から④を参考にいくつかの映像を追加しておく



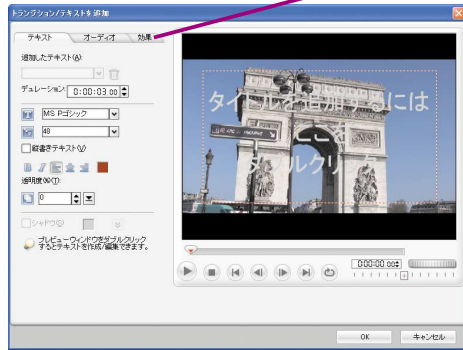
① レッスン④で編集した映像をクリック

② [ビデオをエンハンス] をクリック

2 [効果] タブを表示する

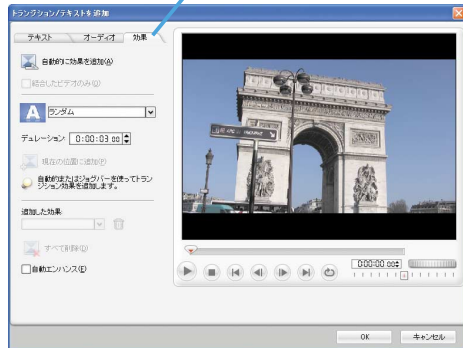
[トランジション/テキストを追加] 画面が表示された

[効果] タブをクリック



3 [効果] タブが表示された

[効果] タブでは、映像にトランジション効果を追加できる



間違った場合は?

間違った効果を設定してしまったときは、手順4で効果の一覧から別の効果を選び直します。



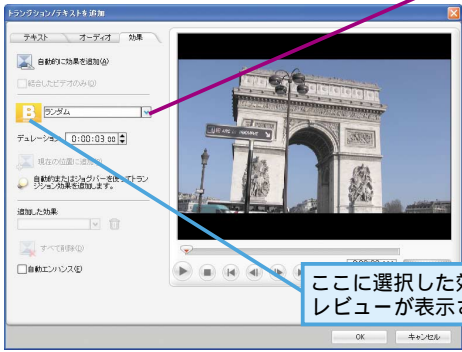
トランジションってなに？

トランジションとは、シーンが切り替わる場所などで、前後の映像をスムーズに切り替わるようにしたり、逆にシーンの切り替えを目立たせたりするための効果です。代表的なものとしては、次第に映像を暗くするフェードアウトなどの効果があります。

4 追加する効果を選択する

ここでは、映像の最後が黒くフェードアウトするように効果を付ける

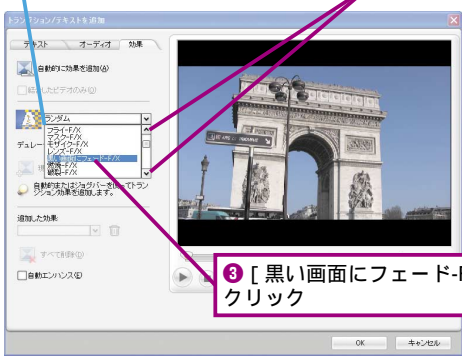
1 [トランジション効果]をクリック



ここに選択した効果のプレビューが表示される

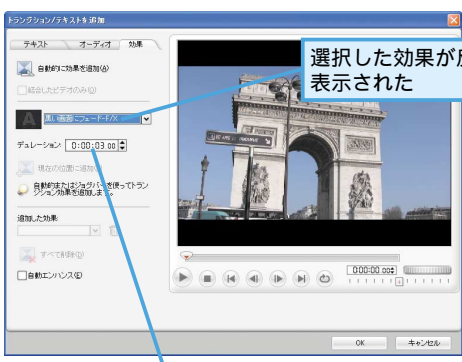
映像に付けられる効果が一覧で表示された

2 ここをクリックし、一覧の続きを表示



3 [黒い画面にフェード-F/X]をクリック

5 効果を選択できた

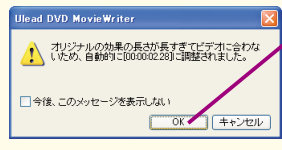


選択した効果が反転して表示された

[デュレーション]は追加した効果が表示される時間を表わしている

HINT! 効果を追加したときにメッセージが表示されたときは

映像の最後に効果を追加した場合などは、映像の最後まで時間と効果の表示に必要な映像の長さがうまく合わない場合があります。このような場合、メッセージが表示され、映像に効果が適用される時間が自動的に調節されます。



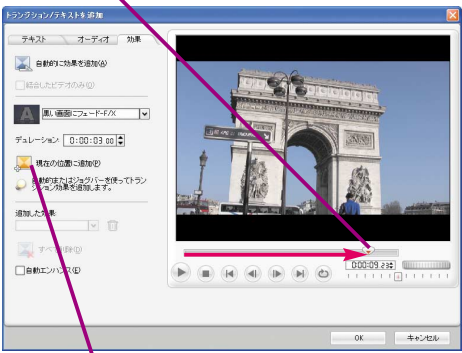
[OK]をクリック

6 映像に効果を追加する

効果を追加する映像の部分を表示する

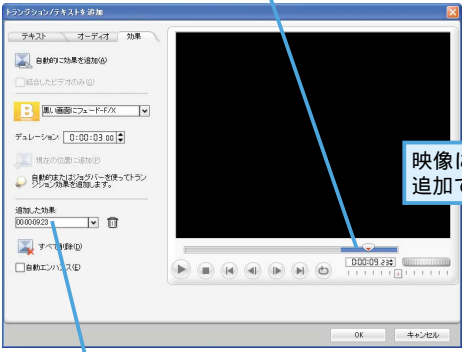
ここでは映像の最後に効果を付ける

1 映像の最後の部分までジョグバーをドラッグ



2 [現在の位置に追加]をクリック

効果を付けた部分が青く反転して表示された



映像に効果を追加できた

追加した効果はここに表示される

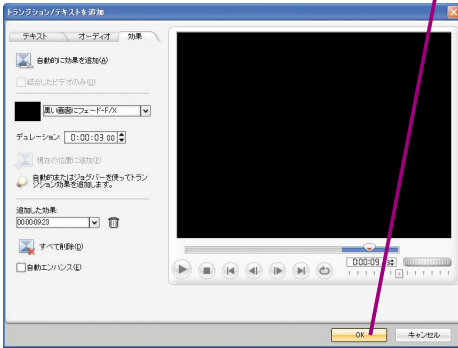
次のページに続く

7

追加した効果を反映する

ここまでの手順で追加した効果を反映する

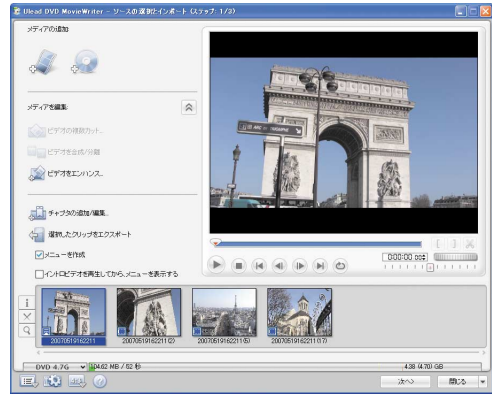
[OK]をクリック



8

効果が反映された

追加した効果が反映され、手順1の画面に戻った



できるアイビス

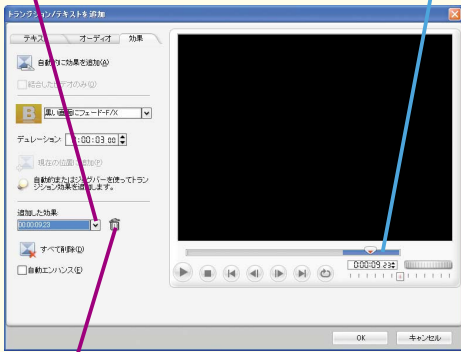


追加した効果を削除するには

追加した効果を削除したいときは、以下のように追加した効果を一覧から選び、[選択したトランジション効果をビデオクリップから削除します] をクリックすることで不要な効果を削除できます。

1 [トランジション効果の位置] をクリックし、追加した効果を選択

選択した効果が追加された部分が反転して表示された



2 [選択したトランジション効果をビデオクリップから削除します。] をクリック

選択したトランジション効果が削除された



間違った場合は?

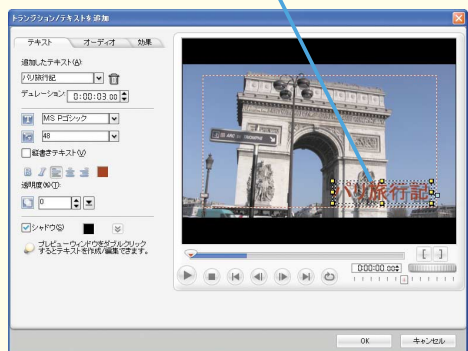
間違った効果を設定してしまったときはHINT! 「追加した効果を削除するには」を参考に効果を削除します。



映像にテキストを追加することもできる

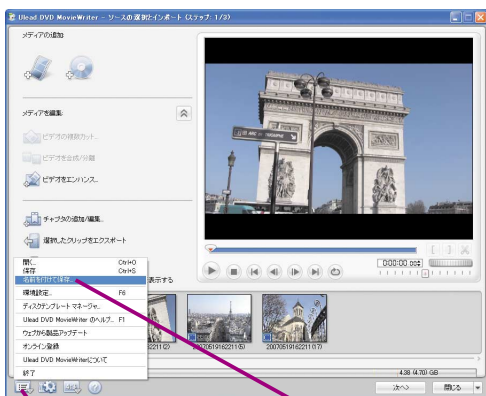
手順7の画面で [テキスト] タブをクリックすると、映像の中にテキストを追加することができます。映像のタイトルを表示したり、シーンを説明するキャプションを追加したり、人物に文字のコメントを付け加えたりするなど、さまざまな用途に活用すると良いでしょう。

[テキスト] タブでは映像にテキストを追加できる



編集内容を保存する

9 ここまでに編集した内容を保存する

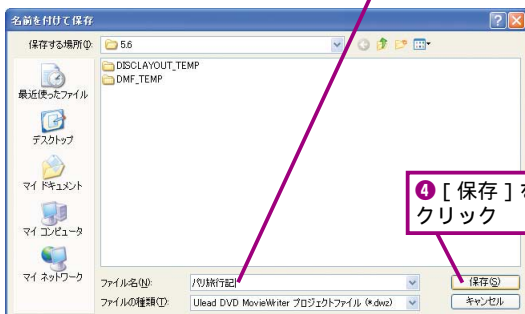


1 [設定とオプション] をクリック

2 [名前を付けて保存] をクリック

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示された

3 ファイル名を入力



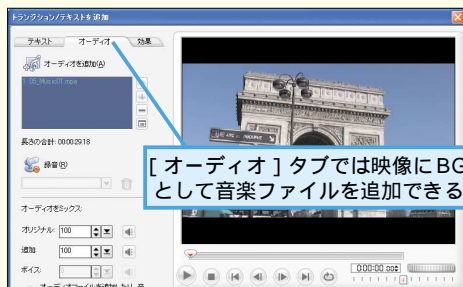
4 [保存] をクリック

手順8の画面に戻り、編集内容を保存できた



BGMを追加するには

映像には効果やテキストだけでなく、音楽も追加することができます。手順7の画面で[オーディオ]タブをクリックし、パソコンに保存されている音楽ファイルなどを指定すると、その音楽がBGMとして映像と一緒に再生されます。シーンに合わせた音楽を選んで、楽しい映像を作成してみましょう。

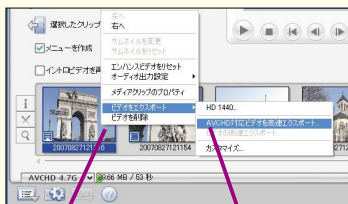


[オーディオ] タブでは映像にBGMとして音楽ファイルを追加できる



編集した映像を書き出すには

編集した映像は、DVDに書き出すだけでなく、映像ファイルとしてパソコンに保存しておくこともできます。手順9で編集内容を保存後、以下のように[ビデオをエクスポート]でファイルとして保存しておきましょう。ただし、書き出せるファイル形式はレッスン③で選択した映像フォーマットに左右されますので注意しましょう。



1 書き出したい映像を右クリック

2 [ビデオをエクスポート] - [AVCHD対応ビデオを高速エクスポート]の順にクリック



Point

あまり効果を追加しすぎないようにしよう

DVD MovieWriter SEでは、映像の最初や最後、シーンの切り替えに効果を設定したり、映像に文字やBGMを追加したりするような演出がかたんにできます。しかし、このような演出は、あまり多用しないことが重要です。たとえばシーンの切り替えごとにいろいろな効

果が表示されると、見ていて疲れる映像になってしまいます。効果やテキスト、BGMなどは、あくまでもオリジナルの映像を助けるための脇役です。あまり効果を追加しすぎると肝心の映像の雰囲気が損なわれてしまいますので、適度に抑えることが大切です。

レッスン 6

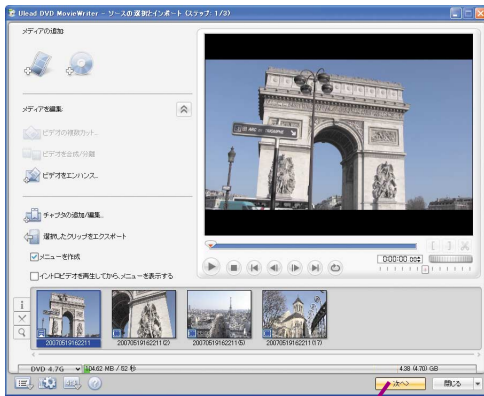
DVDのメニューを 作成するには

メニューの編集

編集した映像をDVDに書き込むための準備をしましょう。まずは、DVDとして再生したときに表示されるメニュー画面を作成します。

1 メニューを作成する画面を表示する

DVDを再生したときのメニューを作成する



[次へ]をクリック

2 メニューテンプレートが表示された

[テンプレートを選択してメニューを作成]画面が表示された

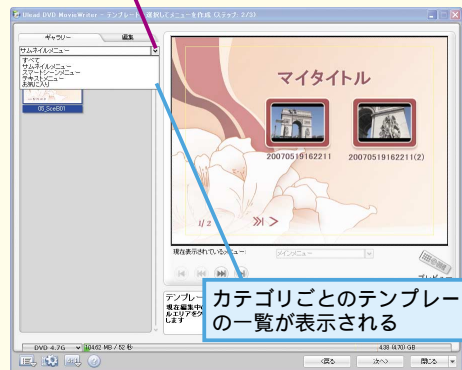
あらかじめ用意されているテンプレートがギャラリータブに表示される



いろいろなテンプレートが用意されている

DVD MovieWriter SEには、カテゴリごとにいろいろな種類のテンプレートが用意されています。テキストのみが表示されるシンプルなテンプレートや映像のシーンが再生されるテンプレートなどもありますので、好みによって選ぶと良いでしょう。

手順2で[メニューテンプレートカテゴリ]をクリック



カテゴリごとのテンプレートの一覧が表示される



間違った場合は?

手順3でダブルクリックしたときに、テキストの位置などを間違えて動かしてしまったときは、メニュー画面を右クリックし、[このページをリセット]を選択すると、最初の位置に戻せます。



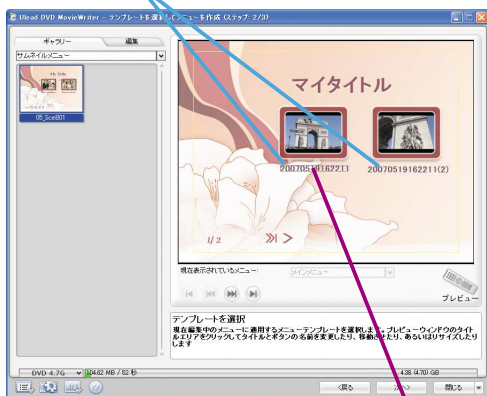
DVDのフォーマットによって利用できるテンプレートが異なる

手順2で表示されるメニュー画面のデザインなどのテンプレートは、レッスン④で選択した映像フォーマットによって異なります。本書ではフォーマットにDVDを選んだ場合を例に設定を進めますが、そうでない場合は別のテンプレートを選択して設定を進めましょう。

3 編集するメニューを選択する

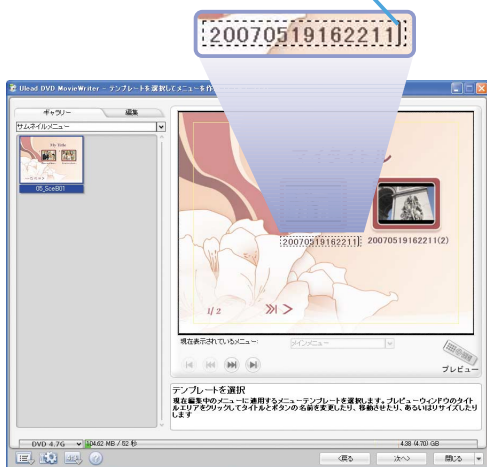
追加した映像がそれぞれメニューとして表示されている

ここでは各メニューのテキストを映像の内容にあったものに編集する



編集したいメニューをダブルクリック

カーソルが表示され、テキストを編集できるようになった



テキストを拡大縮小することもできる

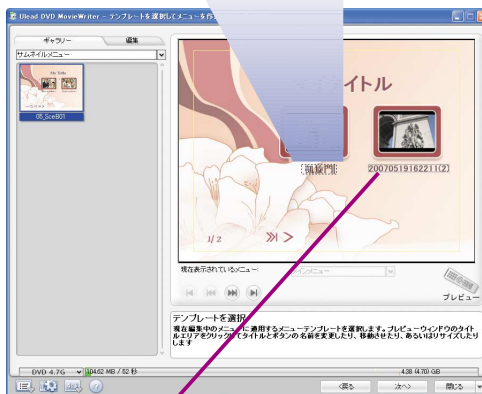
手順4で入力したメニューのテキストは、かんたんに大きくしたり、小さくしたりすることができます。テキストの入力後、[編集]タブをクリックし、テキストの大きさや色などを変更しましょう。

4 テキストを編集する

1 メニューのテキストを入力

「凱旋門」

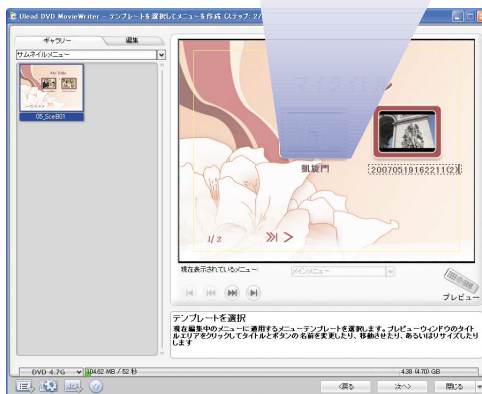
入力したテキストを確認しておく



2 次に編集したいメニューをダブルクリック

入力したメニューのテキストが確定された

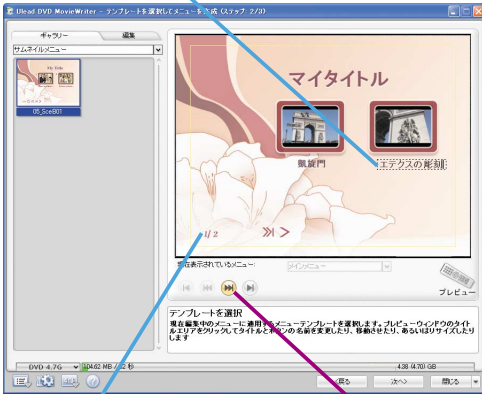
凱旋門



次のページに続く

5 メニューの続きを表示する

手順2から3までを参考に、ほかのメニューを編集しておく



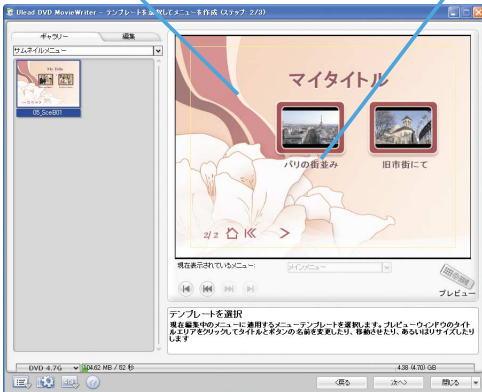
ここに [1 / 2] と表示されているので、メニューに続きがあることがわかる

[次のメニューへ] をクリック

6 メニューの続きが表示された

メニューの続きが表示された

残りのメニューもここまでの手順を参考に編集しておく

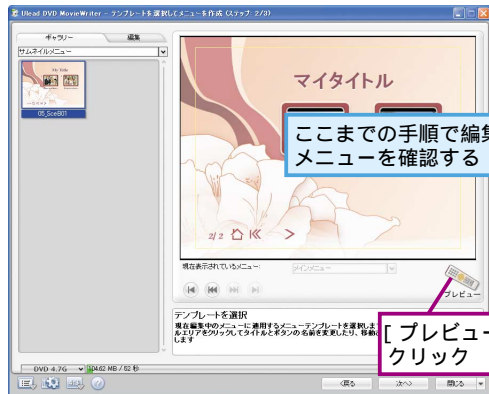


メニューに動きを付けることもできる

手順6の画面で [編集] タブをクリック後、[モーションメニュー] を設定すると、背景に動画を設定するなど、動きのあるメニューを作ることができます。より凝ったメニューにしたいときに活用すると良いでしょう。

編集したメニューを確認する

7 プレビュー画面を表示する



ここまでの手順で編集したメニューを確認する

[プレビュー] をクリック

8 プレビューを開始する

プレビュー画面が表示された

左側に表示された仮想のリモコンを操作してプレビューする



[再生] をクリック



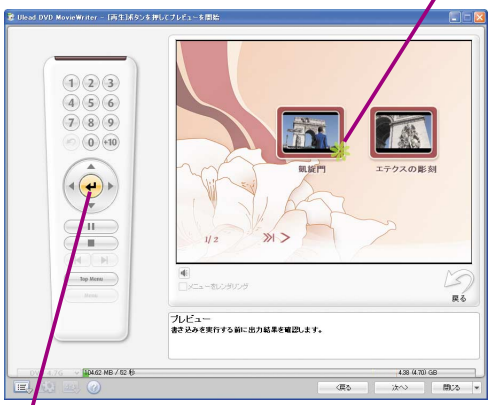
ここにDVDを再生したときのプレビューが表示された

9

映像を再生する

DVDプレーヤーで操作するときと同じ要領で操作する

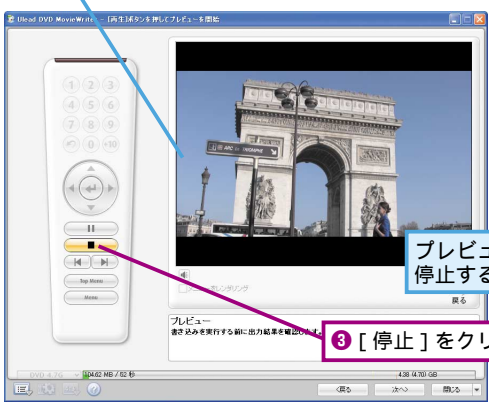
① 仮想のリモコンを使い、再生する映像を選択



② [入力]をクリック

選択した映像が再生された

編集したメニューを確認できた



プレビューを停止する

③ [停止]をクリック



メニューはマウスでも操作できる

メニューの操作はリモコンだけでなく、マウスでも行うことができます。手順8のプレビュー画面をマウスで操作できるのはもちろんのこと、作成したDVDをパソコンで再生するときなども、マウスを使ってメニューを操作することができます。

6

メニューの編集

10

プレビューを終了する

プレビューが停止した

[戻る]をクリック



プレビューが終了し、手順6の画面に戻った



間違った場合は?

プレビューの確認で思い通りのメニューではなかったときは、プレビュー終了後、もう一度、メニューを編集し直しましょう。



Point

書き込む前によく確認しよう

メニュー画面は、DVDにどんな映像が収録されているのかを表示したり、その中から見たい映像を選んだりするために欠かせない機能です。必要以上に凝ったメニューを作る必要はありませんが、映像のタイトルなどをしっかりと入力し、見やすいDVDのメニューを作成しましょう。なお、作成したメニューは、次

のステップでDVDへの書き込みを開始してしまうと、もはや修正することはできません。書き込みを開始する前、つまり、このレッスンの段階で、デザインは問題ないか、タイトルと映像が間違っていないか、誤字や脱字などがどうかをしっかりと確認しておくようにしましょう。

完成した映像を DVDに書き込むには

書き込み

思い通りに映像を編集し、メニューも完成したら、いよいよ最後の仕上げをします。作成した映像をDVDに書き込んで完成させましょう。

1 DVDの書き込み画面を表示する

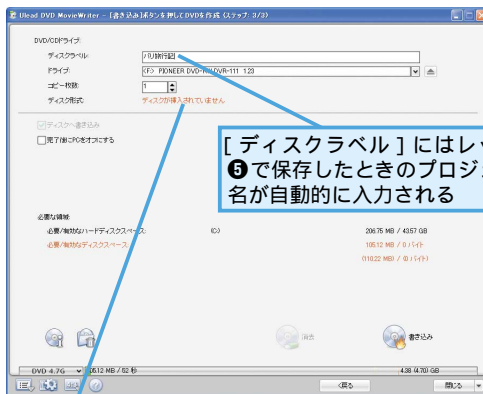
ここまでの手順で編集した映像と作成したメニューをDVDビデオとして書き込む



[次へ]をクリック

2 DVDの書き込み画面が表示された

[[書き込み] ボタンを押してDVDを作成] 画面が表示された



[ディスク形式]にはレッスン⑤で保存したときのプロジェクト名が自動的に入力される

書き込むためのDVDメディアがセットされていないと、[ディスク形式]に[ディスクが挿入されていません]と表示される

3 ドライブにDVDメディアをセットする

注意 DVD MovieWriter SEでの書き込みに対応しているDVDメディアは8cmまたは12cmのDVD-R(1層、2層)、DVD-RWになります



DVDビデオとして書き込むためのDVDメディアをセット



間違った場合は?

手順4で[書き込み]がクリックできないときは、書き込み可能なメディアがドライブにセットされているかどうかを確認しましょう。

HINT! パソコンに保存された映像をiVISに書き戻せる

パソコンで編集した映像やレッスン⑤のHINT!を参考にファイルとして書き出した映像は、再びiVISに書き戻すこともできます。1つの映像が2GB以内のサイズで、ハイビジョン画質の場合に限られますが、iVISに書き戻すことで手軽に持ち運ぶことができ、外出先などで映像を楽しむことができます。

① レッスン②を参考に [GuideMenu] を表示



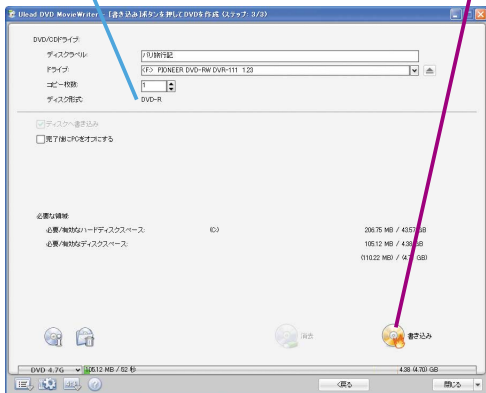
② [ビデオカメラに書き戻し]をクリック

[ビデオカメラに書き戻し]画面が表示され、iVISに書き戻す映像を選択できるようになる

4 書き込みを開始する

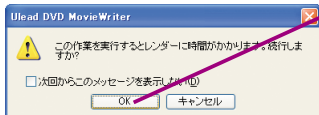
書き込みが可能なDVDメディアがセットされると、ここに表示される

1 [書き込み] をクリック



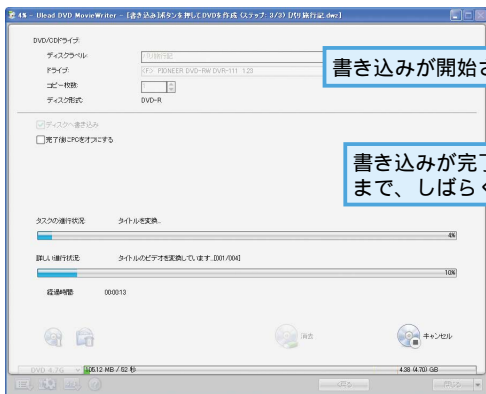
レンダーに時間がかかるというメッセージが表示される

2 [OK] をクリック



書き込みが開始された

書き込みが完了するまで、しばらく待つ



レンダーってなに？

レンダーとは、映像を変換する作業のことです。iVISで撮影した映像はHDモードなので、DVD-Video形式で書き込むために、映像の形式や画質、サイズなどを変更する必要があります。この作業をレンダーと呼びます。映像によってはレンダーに長い時間がかかる場合もあります。

5 書き込みが完了した

書き込みが完了すると、次に何をするかどうかを選択する画面が表示される

ここではプロジェクトを保存し、DVD Movie Writerを終了する

1 [プロジェクトファイルを保存してDMWを終了し、ラウンチャを実行します] をクリック



[DVD MovieWriter SE] の Launcher画面が表示された

Launcher画面を閉じる



Launcher画面が閉じた



Point

最後の確認を忘れずに

DVDへの書き込みは映像編集の最終ステップです。書き込みを実行することで、これまでに編集した映像やメニューが、DVDに保存され、完成品として鑑賞することができるようになります。ただし、最終ステップということからもわかるとおり、この作業を実行してし

まうと、もはや映像やメニューを修正することはできなくなり、修正したい場合はもう一度DVDへの書き込みをやり直さなければなりません。映像や効果、メニュー、そしてフォーマットなど、本当に間違っていないかどうかを良く確認してから実行しましょう。

7

書き込み

著者

清水理史 (しみずまさし) shimizu@shimiz.org

1971年東京都出身。外資系企業のシステム管理者を経て、1997年にフリーライターとして独立。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。『BroadBand Watch』にて、ブロードバンド関連の話題を扱う『イニシャルB』を連載中。おもな著書に『できるPRO Windows Server 2003』、『できるインターネット&メールの「困った!」に答える本 Windows XP SP2 対応』、『できるXbox 360公式ガイド』、『できるパソコンのお引越』、『できるWindows Vista』、『できるGroove 2007 Windows Vista対応』(インプレスジャパン)などがある。

できるアイビス iVIS HG10 映像編集編(以下、本書)は、キヤノンマーケティングジャパン株式会社から株式会社インプレスジャパンが委託を受けて制作した特別版です。本書は無償で提供されるものであり、本書の使用または使用不能により生じたお客様の損害に対しキヤノンマーケティングジャパン株式会社ならびに株式会社インプレスジャパンは一切の責任を負いかねます。また、本書に関するお問い合わせはお受けしておりません。あらかじめご了承ください。

できるアイビス

iVIS HG10 映像編集編

編集 ————— できるシリーズ編集部
執筆 ————— 清水理史
協力 ————— キヤノンマーケティングジャパン株式会社
イメージイラスト ——— 廣島 潤
テクニカルイラスト ——— 福地祐子・松原ふみこ
シリーズロゴデザイン — 山岡デザイン事務所
カバーデザイン ————— ON Design / 中島信浩

Copyright © 2007 Masashi Shimizu and Impress Japan Corporation. All rights reserved.

2007年9月発行

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

発行 株式会社インプレスジャパン An Impress Group Company
〒102-0075 東京都千代田区三番町20

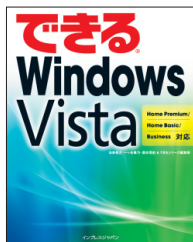
「できるサポート」では、本書に関するお問い合わせにはお答えしておりません。あらかじめご了承ください。

できるシリーズ

シリーズ
3000万部
突破!

もっと使いこなしたいあなたに

できるWindows Vista



法林岳之・一ヶ谷兼乃・清水理史 & できるシリーズ編集部
定価1,344円(本体1,280円+税)
デジカメもIE7も検索も、新しいWindowsがわかる!

商品番号 **2350**

できる入門 今日からは始めるパソコン



法林岳之 & できるシリーズ編集部
定価1,050円(本体1,000円+税)
「できるシリーズ」よりさらにやさしい超初心者向けのパソコン入門書。

商品番号 **2354**

できるインターネット & メール Windows Vista対応

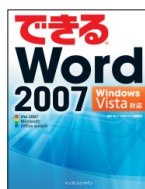


商品番号 **2366**

山田祥平 & できるシリーズ編集部
定価2,079円(本体1,980円+税)

インターネットとメールを「簡単」「安全」「快適」に楽しめるノウハウが満載!

できるWord 2007 Windows Vista対応

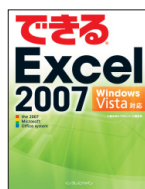


商品番号 **2351**

田中亘 & できるシリーズ編集部
定価1,344円(本体1,280円+税)

企画書もはがきも振票も、Word 2007の使いこなし方、満載!

できるExcel 2007 Windows Vista対応

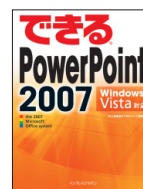


商品番号 **2352**

小館由典 & できるシリーズ編集部
定価1,344円(本体1,280円+税)

数式もグラフも関数も、Excel 2007が今日から使える!役に立つ!

できるPowerPoint 2007 Windows Vista対応

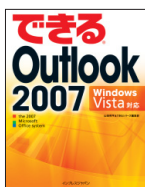


商品番号 **2353**

井上香緒里 & できるシリーズ編集部
定価1,449円(本体1,380円+税)

図解も資料もプレゼンも。パワポを活かすコツ満載!

できるOutlook 2007 Windows Vista対応



商品番号 **2359**

山田祥平 & できるシリーズ編集部
定価1,554円(本体1,480円+税)

メールだけじゃない! 一歩先の使い方がわかる!

パソコンの「困った!」に答える本 Windows Vista対応



商品番号 **2419**

広野忠敏 & できるシリーズ編集部
定価1,659円(本体1,580円+税)

Vistaパソコンの「困った!」をQ&A形式で紹介。疑問やトラブルをすっきり解消!

インターネットメールの「困った!」に答える本 Windows Vista対応



商品番号 **2417**

清水理史 & できるシリーズ編集部
定価1,764円(本体1,680円+税)

インターネットの「困った!」をQ&A形式で紹介。ブログやSNSの疑問もすぐに解決!

できるポケット すぐに使えるWindows Vistaの基本がマスターできる本



商品番号 **2379**

法林岳之・一ヶ谷兼乃・清水理史 & できるシリーズ編集部
定価924円(本体880円+税)

インターネット・メール・デジカメ。新しいWindowsの基本がわかる!

携帯電話からも購入できます

- ① ipc@morder.jpへ空メール(件名、本文なしのメール)を送る。
※ドメイン指定受信を設定していると全ての確認メールが届きません。その場合は必ずmorder.jpを追加してください。
- ② 折り返し届く注文サイトURLにアクセス、手順に従い広告に掲載されている商品番号を入力してください。

インプレスジャパンダイレクト

できるシリーズもすぐ買える!

版元直販サイト インプレスジャパンダイレクト

<http://direct.ips.co.jp/ij/>

読者会員制度と出版関連サービスのご案内

登録料・年会費も無料!

CLUB IMPRESS

今すぐアクセス! club.impress.co.jp

お問い合わせ・ご注文は...インプレスカスタマーセンター

Tel: 03-5213-9295 Fax: 03-5275-2443 E-mail: info@impress.co.jp

画面で見せる入門書の**元祖**です

できるシリーズは、画面で見せる入門書の**元祖**です。
見開き完結のレッスンを基本とし、レッスン1から順を追って
進めていくことで、**カンタン**なことから始められます。
また、レッスンを進めるにしたがって、必要な知識が**身につく**構成に
なっています。できるシリーズなら、**はじめて**の人でも**安心**です。

- ▶ オールカラーの紙面でわかりやすく解説
- ▶ レッスン単位でステップアップ学習できる
- ▶ 各レッスンごとに重要ポイントを掲載
- ▶ 関連知識をヒント形式で解説